

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

| 非公開希望 | 項目 | 内容 |
|----------|------|---|
| | 所 属 | 国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 2年（帰国年次） |
| 原則 公開 | 留学先 | ※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大學全球發展学院全球政治經濟學系英語學士班 |
| 原則 公開 | 留学期間 | ※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 2月 18日 ～ 2019年 6月 21日 出国日 2019年 2月 16日 最終帰国日 2019年 6月 22日(当初の計画では23日帰国でしたが、 帰国便欠航により、変更しました。) |

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

最初は、授業についていくのが必死で自分のことをストイックに追い詰めすぎてしまうことがありましたが、半年間も全力で頑張る気持ちが続かないことに気づき、友達と外出や旅行をする楽しみを作ることにしました。気持ちの切り替えをすることで精神的に落ち着くことができ、留学が楽しいと思えるようになりました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

台湾の文化や電車の乗り方やレストランでの注文の仕方といったローカルルールを勉強すべきだと思いました。また、授業内で台湾や中国の政治や経済状況を他の国との比較で出してきたりするので、あらかじめ勉強すべきだったと思います。

1年生の時に中国語を履修していましたが、学習院では中国の中国語しかないので、習った単語は台湾ではメジャーに使われていなかったり、字も違うので、台湾の中国語の単語も目を通しておくと良いと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

とても熱心に授業をしてくれる先生が多いです。教授との距離が学習院より近い印象があ

ります。気軽に話しかけたり、研究室にも気軽に質問しに行ける距離感がとても好きです。授業を積極的に受けていると顔と名前を覚えてくれるので、教授側からコミュニケーションを教室内外かかわらず取ってくれます。LINE や FaceBook を通じてやり取りをするのには驚きました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

校舎や寮は比較的新しいので、綺麗な印象です。図書館やジム、自習室といった施設は充実しています。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

外国人留学生向けの中国語のクラスが上級、中級、初級の3段階でありました。単位ももらえる授業です。授業なので、教科書代しか必要ないです。50分×2コマを週2回受けるのが正規の履修方法ですが、履修している人数が少ないので、自分の空きコマと時間があえば、他のレベルの授業にも参加していいとのことだったので、私は最大で週4回8時間受けていました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

サポートは特にありませんが、生徒も先生も職員さんも質問すれば優しく教えてくれます。外国籍の生徒向けのサークルがあるので友達作りの一環で参加していました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

奨学金は一年間（2学期）の交換留学の生徒のものしかありませんでした。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

街中は、田舎ですが台湾の観光地でもあるので、治安は良く、大通りは明るく交通量もあるので、一人で出歩いても危険を感じることはありませんでした。キャンパスは町から離れた山奥にあるので、夜は暗くて、危険というよりは遭難の危険を感じたので、徒歩で歩き回ることはしませんでした。校門にはガードマンがいるので、関係者以外は入ってきません。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

自然がとにかく豊かです。また、学生も先生も本当に親切です。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

| ①留学先での履修科目名 (単位数) | ②本学で単位認定された科目名 (単位数) |
|--|----------------------|
| Politics II (2) | |
| International Financial Management (2) | |
| European Union contemporary Issues and Controversies (2) | |
| Regionalism in Southeast Asia (2) | |
| Reading on Current Political and Economic Issues (2) | |
| Chinese Economy and Society (2) | |
| International Economy (3) | |
| Global Economic Issues (2) | |
| 中級華語 (2) | |

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 2,500NT\$、(日本円) 約 10,000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (学食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 3 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

校舎と宿舎が隣接しているので雨にも濡れることなく登校できるのは非常に良い点だと思います。悪かった点はベッドのマットレスを自分で購入するのですが、現地で調達したので、慣れるまでは硬くて大変だったことです。

門限がないので、かなり自由な寮生活でした。校門にはガードマンがいるので安心ですが、異性や生徒の家族など、寮内への出入りが実質誰でもできるので、貴重品の管理には神経を尖らせていました。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0NT\$、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他（ ）、（日本円）約 80,000 円

(3) 生活費

（現地通貨）月額・年額 約 10,000NT\$ 、（日本円）約 40,000 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

クレジットカードは学習院桜友会の VISA カード（インターナショナル）を持参しました。キャッシュカードは、三菱 UFJ の JCB デビットカードが海外の ATM にも対応できるので作りました。どちらも学生向けなので、未成年でも親の同意があれば入れましたし、貯金高の基準が厳しくないなのでお勧めです。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

2019 年度第 1 回「学習院大学海外留学奨学金」15 万円

5. 保険について

(1) 保険会社名

損保ジャパン日本興亜

(2) 保険料

181,490 円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行総合保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

本来は、学習院大学で提供される保険に入らないといけないのですが、両親が保障内容に納得しなかったため、自分で探して加入しました。なので、学研災に比べてかなり高額になっています。

プランの中には、ストライキ等の現地トラブルに対してオペレーターによる 24 時間体制のサポートがありましたが、日本では近年、ストライキがない「平和ボケ」をしているからなのか、電話を掛けても、サポートは一切ありませんでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

電子レンジで炊飯できるシリコンの調理具、フリーズドライのスープ、青汁、虫除け

→共用キッチンがありますが、コンロはないです。台湾特有の電気鍋と電子レンジ、トース

ターはありました。食品アレルギーがあったのでお米を週末でも食べれる環境づくりは私にとって本当に重要なことでした。食事は油が多く、繊維質が不足しがちになるので青汁は本当に助かりました。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

部屋にかけるタイプの蚊除け

部屋によって出る虫が違うようなのですが、私の部屋にはゴキブリや蜘蛛しか出なかったので使わなかったです。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特にないです。日系のお店も多数出店したり、日本の商品も調達できる地域なので、現地でも日本と変わらない感覚で日用品をそろえることができました。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業の復習や予習をしたり、グループプレゼンやレポートの用意をしたりしていました。

時間がある時は、Youtube や Netflix をみたり、夕飯を食べにルームメイトと外出したり、クラスメートの部屋に集まって、ゲームをしたりしていました。

(2) 週末

学食が開いていないので、基本的に自炊です。溜まっていた家事をしたり、課題をこなしたりしていました。時間があるときは羅東の夜市や台北へ行くなど遠出をすることもありました。

8. 後輩へのアドバイス等

保険や電化製品の保証はしっかりとしてから留学に行ったほうがいいです。私は途中でノート PC を壊してしまいました。日本製品なので、現地では直せなかったので帰国後に修理に出しました。保証をしっかりと準備した上で留学したので、帰国後の修理は無料で済みました。

また、滞在中に何回か停電することがありました。短時間なので、食事やお風呂の心配はありませんが、給水機が止まってしまうので、ペットボトルの水は少し備蓄しておくといいと思います。

勉強面では、国社の後輩向けになってしまうのですが、一年生のときの必修の英語の授業を頑張って、しっかりと身につけてほしいです。国社で学んだレポートの書き方やプレゼンの準備、発表姿勢は世界で通用すると実感しました

沢山の保証や保険をかけていっても、ストライキによる帰国便の欠航の時に、実際に手を差し伸べてくれる大人はいませんでした。航空券手配のエージェントも、欠航時にサポートする事を謳っていましたが、休日だったこともあり、電話すら通じませんでした。最後に頼れるのは、自分しかいません。トラブルのケーススタディー等、知識面の準備もしっかりとして行くことをおすすめします。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

町から遠いキャンパスで、自然が豊かなため虫も多いですし、グローバルキャンパスの割には英語が話せない職員や売店の人もいます。ですが、生活力、行動力を身につけるのにはよい場所だと思います。また、勉強に集中できる場所です。私は初めての留学だったので、最初の方は精神的に辛かったのですが、慣れと精神的な成長もあり、最後の方は留学を楽しむことができた気がします。また、授業はすべて英語で、キャンパスのある礁溪は田舎なので買い出しやタクシー、バス、電車の利用など町に出れば中国語を使わないといけないという環境で、私の目標であった、中国語の向上も果たせたと思います。

休講や宿題、テストなどの授業の情報や、学校内でのイベント情報はすべて FACEBOOK で共有されるので、アカウントを作っておいた方が良いでしょう。

蘭陽キャンパスに関しての情報はネット上に日本語や英語での掲載はほとんどないので、遠慮なく質問してください。